

第2回ワーキングでの主な意見

会議名	開催日時	場所	出席者
下流域ワーキング	平成26年12月16日(火) 10:00~11:20	加古川市青少年女性センター 大会議室	23名
中流域ワーキング	平成26年12月2日(火) 14:00~15:30	やしろ国際学習塾 中会議室	47名
上流域ワーキング	平成26年12月1日(月) 13:30~15:00	丹波県民局柏原職員福利センター1階 会議室	15名

項目	No.	意見等	会議	推進計画への反映等	推進計画反映ページ		
河川・下水道対策	1	「1-3 河川・下水道の整備状況」では、図面の凡例が改修に着手した河川となっている。一方、「4-1 河川の整備及び維持」では、整備計画実施計画に位置付けられた今後の河川対策区間となっており、違いが分かりにくい。	下流WG	反映	「1-3 河川・下水道の整備状況」の図面のタイトルを「(国・県管理区間)」を追加し、「凡例を過去に改修に着手した河川(区間)」と修正する。	【推進計画記載箇所】 1-3 河川・下水道の整備状況 (1) 河川の整備状況 (推進計画 P31~44)	
流域対策	2	屋根に降った雨水をタンクに貯留するという考えは小さすぎると感じるが、効果があるのか。	上流WG	回答	2000の降った雨量をためることができる大きなタンクであり、地域で取り組めば、より効果があると考えられる。	-	
減災対策	3	ハザードマップの作成が進んでいるが、近隣の自治会間で連携して避難を実施するような検討が必要である。	上流WG	参考	参考意見とさせていただきます。	-	
モデル地区等における取り組み	加東市河高地区	4	河川対策については、国の整備計画では社・河合地区になっており、地区の名称を統一等、国の整備計画との整合を図ってほしい。	中流WG	反映	国の整備計画では社・河合地区にあたることを注釈で明記する。	【推進計画記載箇所】 9-1-2 取り組み内容 (1) 河川・下水道対策 (推進計画 P152)
		5	ため池の事前水位下げは、ため池の管理者の協力が得られないと実施できないことから、取り組み主体を加東市とため池管理者、あるいは県民とすべき。	中流WG	反映	取り組みの主体を「県民(ため池管理者)、加東市」と修正する。	【推進計画記載箇所】 9-1-2 取り組み内容 (2) 流域対策 (推進計画 P153)
		6	対策後の縮減効果で「貯留により市道が浸水しないことから、」と記載されているが、貯留した場合でも雨が降り続けると、内水浸水被害が発生することから、文言の精査が必要である。	中流WG	反映	対策による縮減効果を精査するとともに、対策によりリードタイムを長く確保できることを明記する。	【推進計画記載箇所】 参考資料 2.流域対策後の浸水区域の縮減効果 (推進計画 参-12~14)

項目		No.	意見等	会議	推進計画への反映等	推進計画反映ページ	
モデル地区等における取り組み	西脇市黒田庄町福地区	7	楠丘小学校で校庭貯留を実施する計画であるが、公共施設が避難場所に指定されている場合や、避難に利用する車の駐車場所に利用されることから、校庭に水をためても支障がないか。	中流WG	反映	小学校の校舎が校庭よりも高く、さらに近隣に神社等の駐車に利用できる土地があることから、校庭貯留を実施する施設として選定している。しかしながら、意見を踏まえ、内部調整を図り、流域対策より校庭貯留を削除した。	【推進計画記載箇所】 9-2-2 取り組み内容 (2) 流域対策 (推進計画 P159, 161) (推進計画 参-16~18)
	多可町加美区多田地区	8	水田貯留可能容量の対象とする田んぼが、浸水区域と重複しているのではないか。	中流WG	反映	浸水区域を除外した田んぼを水田貯留の対象とし、貯留可能容量および対策による効果を修正する。	【推進計画記載箇所】 参考資料 2. 流域対策後の浸水区域の縮減効果 (推進計画 参-19~21)
その他	法華山谷川	9	法華山谷川流域の河川整備として、間の川の整備が記載されているが、高砂市では下水道事業で実施していることから、注釈等の修正をお願いしたい。	下流WG	反映	指摘を踏まえ、注釈で下水道事業と分かるように記載する。	【推進計画記載箇所】 9-4-4 取り組み内容 (推進計画 P171)